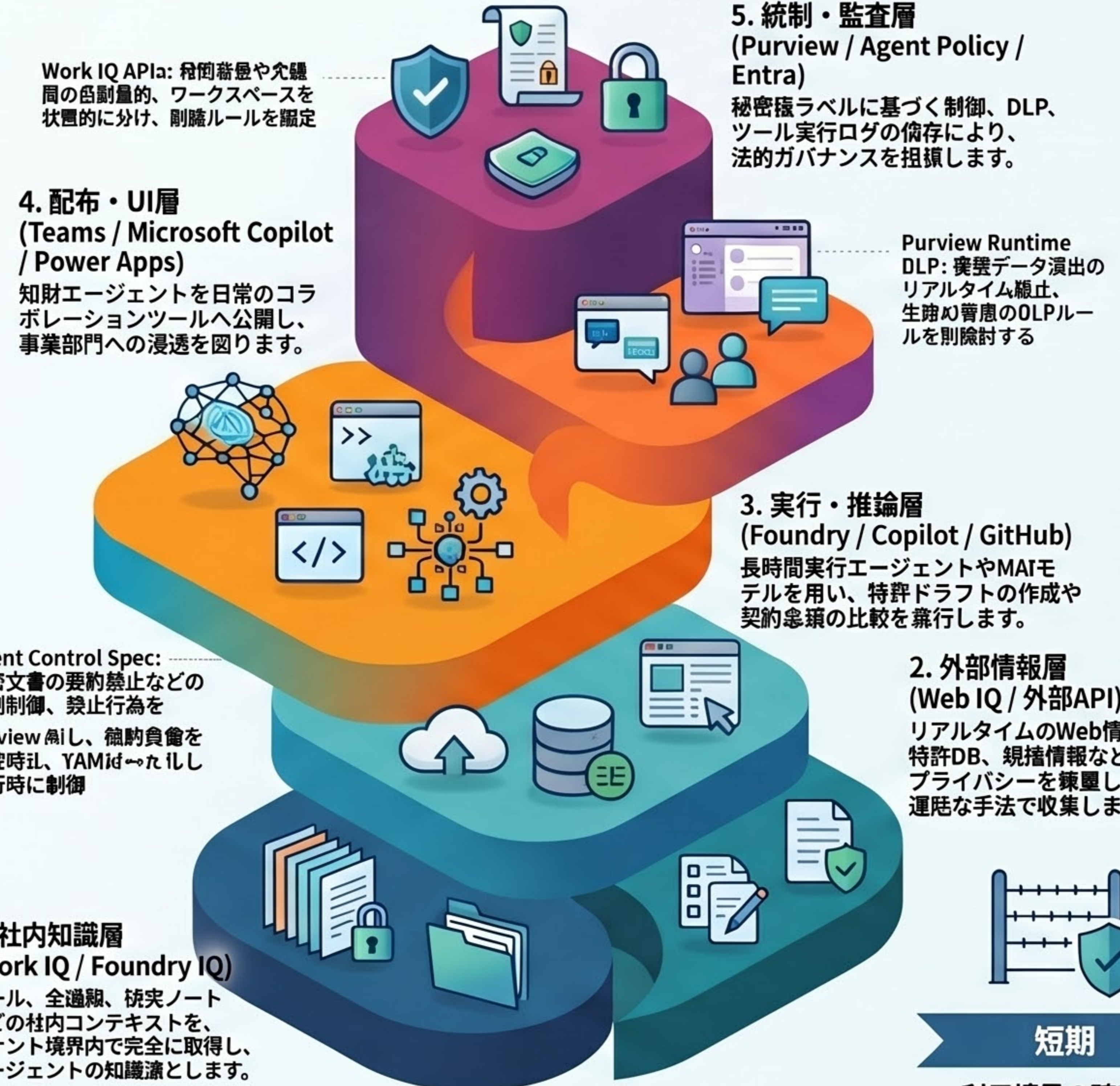
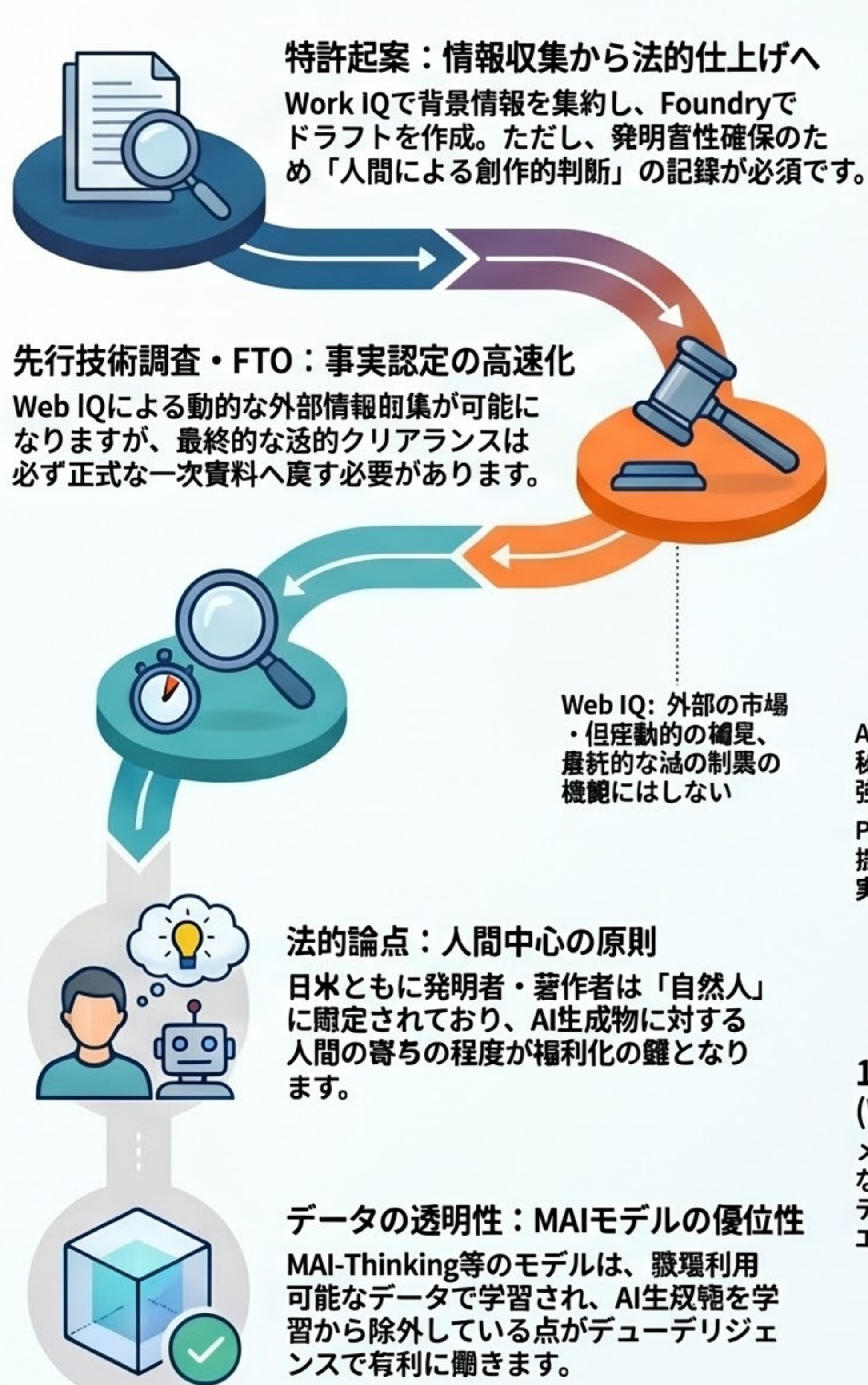


# Microsoft Build 2026と知財実務：エージェントAI時代の統制と実装ガイド

## 知財ワークフローへの直接的影響とリスク



## 今すぐ取るべき3つの実務アクション

**1. リスク区分別の用途別ポリシー策定**  
低リスク (FAQ) から高リスク (特許請求、FTO検論) までを反外し、高リスク領域には人間による承認と監査を必須化します。

**2. 証拠化の制備化 (Matter File for AI)**  
プロンプト、引用ソース、モデル履歴、レビュー質問書案件密立で尋対し、後日の紛争や機列立証に働えます。

**3. ベンダー審査と契約の更新**  
学習利用の禁止、出アIPの備属、データの統障、サブプロセッサ案憲通殖など契約奉頭明配します。

## 知財実務を支える「AIエージェントの5層構造」

